

全日本手をつなぐ育成会発行の季刊紙
『ステージ』の年間購読について

1面の記事にも触れていましたが、全日本手をつなぐ育成会では、知的障がいのある人向けの季刊紙として『ステージ』を発行されています。

本紙は「私たちにもわかる新聞がほしい」という知的障がい当事者の声を受け、記事の漢字には、すべてルビが付きます。むずかしい単語や長い文章を使わずに、わかりやすく説明しているのも特徴です。写真・イラストによる視覚的な情報伝達の手法も含め、総合的な「わかりやすさ」を追求しています。



紙面の内容は政治や経済から、身近な生活情報まで。『ステージ』は、一般紙に載るような記事を中心に取り上げています。その他、「本人活動」や特別支援学校の記事、読者参加型の記事など、知的障がいのある人たちの交流を目的とする記事も充実しています。

年間購読料は税込・送料込で900円となっています。申込用紙のご用命ならびにお問い合わせは事務局(電話6765-5621)まで。

バレンタインコンサートに参加して
わかたけ会 松本 美緒子
菊池 千津子

2月2日にクレオ大阪中央でバレンタインコンサートがありました。



まず、ミセスグレース田中恵子さんによるピアノコンサートがありました。舞台ではお一人でありながら

トークを交えてピアノを演奏しながら歌われました。美しい方でありながら、気さくに楽しくお話しをされ、歌もとても上手で天使の声のようだったので、人を楽しませることができる素晴らしい人だなあと感じました。

次にNTT西日本吹奏楽団の演奏会がありました。指揮者の方も色々のこのコンサートのために工夫をされていて、会場のお客さんにも指揮のやり方を教えてくれて、舞台上にも招いてくれました。一般的に演奏会といえば、静かに聴くものだと思っていましたが、このような工夫をされてお客様と一緒に楽しんでいる様子を見て、堅苦しくなく親しみの持てる演奏会でした。



素晴らしい音楽を聴くことは元より、みんなで心をつなぐ一つにして、リズムに乗って、みんな仲良く、明るく、明日も元気で頑張ろうという気持ちになりました。生きていて良かった、生まれてきて良かったといった明日への希望も湧いてきました。

初めてバレンタインコンサートで、みんなでリズムをとって、みんなが仲良くなれる素晴らしいイベントだったので、こんなに楽しいものであれば、たくさんの人に声をかけて会場をお客様で一杯にしたかったです。来年も開催して欲しいコンサートでした。その際には、チラシをたくさん作って、もっとコンサートの事を宣伝して多くの人に知って欲しいと思いました。

少し残念だったのが、他の方に聞くと、例年であれば皆さんが体を動かせる場所があったようですが、今年は会場の都合でそのような場所が無かったので、次回開催する時には、体を動かせる場所を作って頂くともっとすごく楽しいコンサートになると思いました。

最後になりますが、出演された皆さま、開催のご尽力頂きました大阪市手をつなぐ育成会の皆さま、楽しい一日をありがとうございました。また、来年のバレンタインコンサートを楽しみにしています。

(わかたけ会 松本 美緒子)